

徳地森の子くらぶ①

～秋をみんなで見つけよう～

〈令和2年10月17日（土）～18日（日）〉

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】19名（男子9名、女子10名）、法人ボランティア4名

【プログラムの内容】

1日目

- 11:00 はじまりの会
- 11:30 みんなで仲良くなろう
- 13:15 秋の森を探検しよう
- 18:30 ふりかえり・秋の星を見つけよう
- 20:20 入浴
- 21:00 就寝

2日目

- 9:30 ポトフ作りに挑戦
- 14:00 さよならの会
- 14:15 解散

「はじまりの会」「みんなで仲良くなろう」



多くの参加者は、初めてのキャンプで戸惑いも多く、会が始まる前は、緊張している様子だった。みんなで仲良くなる時間では、学生ボランティアと一緒に色々なゲームをした。子供たちは、徐々に笑顔が出てきた。昼食は、気持ちのよい秋風にあたりながら、外で仲良く食べた。



「秋の森探検のふりかえり」「秋の星を見つけよう」



秋の森探検で感じたことを、一人一人、自分と向き合いながらワークシートに記入しました。「くりのいがが痛かった」「鈴虫の鳴き声が聞こえた」等、五感を使った気づきがたくさんあった。星空観察では、天気にも恵まれ、月や土星を観察することができた。自分の目で観察できたことがとても感動していた様子であった。

「ポトフ作りに挑戦」



ポトフ作りでは、班で役割を確認し協力して進めていた。特に火をつける場面では、薪の位置を調整し、試行錯誤していた。火がついた瞬間は、歓声の声があがっていた。片付けも積極的に声をかけ合いながら、協力して最後までやり遂げた。

「秋の森を探検しよう」



秋の森探検では、秋を感じたり見つけたりするために「ミッションカード」を持って、班ごとに森の中を探検しました。「やまはっか」や「まつぼっくり」等を触ったり、匂いをかいだりして、五感を使って自然を感じることができた時間となった。

気持ちのよい秋風を感じながら、班のメンバーで声をかけ合い、ミッションを全班達成できた。



【参加者の声】

「たくさんの人と友達ができ」「いつもできないことができた」「一人でキャンプに来たことがなかったけど、いいことにつながった」等の感想がありました。

【成果】

ポトフ作りでは、班のメンバーで取り組めるように、職員がまき割りや火付けをデモンストレーション行った。そのため、イメージが付き、自主的に活動する姿が見られた。

【課題】

秋の森探検のミッションで提示したもの以外の植物や虫の名前が知りたいという声が出ていたので、解説できる時間を設けることができればよいと思った。